

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 1-1-2	事務事業名暮らしの便利帳の発行			所管部課 企画部 秘書広報課			
施策コード 協2-1	施策名 開かれた市政の推進	施策目標 市民が情報を得やすいしくみを整えるとともに、情報管理に関する職員の知識・運用の向上を図り、市民と市との双方向の情報交流や市政への市民参加を推進するための積極的な情報公開をめざします。					
事務事業の概要	事務事業の目的 転入者及び市民に対する市の行政情報誌として市民生活に身近な事業項目を掲載し、市民生活の利便性と平等で均一化した市民サービスの向上を図ることを目的としている。				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領		
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 平成23年・24年版から企画提案競技により選定した事業者と協定を締結している。広告収入を民間事業者が得ることによって市が財政負担を負うことなく発行から全戸配布までを行う。 平成25年・26年版の発行部数は118,500部、配布は全戸配布と転入者としている。平成25年・26年版からは電子書籍版による情報提供を開始している。						
	事業開始時期 合併前 年度 実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (官民協働))	
事業費データ 評価指標の設定 評価指標の設定	項目 事業費(A) 国庫支出金・都支出金 地方債 その他 () 一般財源 所要人員(B) 人件費(C)=平均給与×(B) 臨時職員賃金等(C') 総コスト(D)=(A)+(C)+(C') 単位当たりコスト (E)=(D)/(印刷部数)	単位 千円	22年度 0 0 0 0 0.05 404 0 404 千円	23年度 0 0 0 0 0 0 0 0	24年度 0 0 0 0 0.05 385 0 385 0	25年度 0 0 0 0 0 0 0 0	
	活動等指標 ①印刷部数 ②	単位 部	22年度 120,000	23年度 118,500	24年度 107,300	25年度 11,200	
	《指標の説明・数値変化の理由 など》 西東京市暮らしの便利帳(紙ベース)の配布部数。当市の世帯移動(転入・転出)の年平均は、全世帯約96,000(事業所含む。)の約1割が年間移動し、入れ替わっている。年度の替り月は、約1,650世帯の流入見込						
	成果指標 一 配布部数 次 二 次	目標値 実績値	単位 部	22年度 108,000	23年度 12,000	24年度 107,300	25年度 11,200
	《指標の説明・数値変化の理由 など》 当初、世帯移動(転入・転出)の年平均を全世帯約96,000(事業所含む。)の約1割、年度の替り月の流入を約2,400世帯と見込んだが、月流入の実績は約1,650世帯となった。						
	事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	前回の発行内容から総合ガイドとして見直しを行ったため、読みやすくとても活用しやすいとの声をいただいている。				
		都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	26市中17市においては、発行回数、対象、内容等ほぼ同様の作成となっている。(平成24年7月調査)			
		代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	市のホームページ・広報紙			

事業コード 1-1-2	事務事業名 暮らしの便利帳の発行	所管部課 企画部 秘書広報課
----------------	------------------	-------------------

施策コード	施策名	施策目標
協2-1	開かれた市政の推進	市民が情報を得やすいしくみを整えるとともに、情報管理に関する職員の知識・運用の向上を図り、市民と市との双方向の情報交流や市政への市民参加を推進するための積極的な情報公開をめざします。

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	市民に役立つ行政情報、特に市のサービスや手続き等を中心に掲載し、市が財政負担を負うことなく発行から全戸配布及び2年間の転入者分の納品まで実施できていることから、豊かな市民生活の向上に寄与していると考えている。 さらに平成25年・26年版から利便性と付加価値の向上を図る取り組みとして、インターネットを通じた電子書籍版による情報提供を実施した。この電子書籍版は、パソコンで閲覧できるほか、スマートフォンやタブレット端末からも閲覧が可能である。 今後については、広告数が減少（23年・24年版 314社、25・26年版 248社）してきている状況もあるため、発行部数や内容等についての検討が必要である。
	事業の 必要性	2		
	事業主体の 妥当性	3		
B	直接のサービス の相手方	3		
	事業内容等の 適切さ	2		
	受益者負担の 適切さ	3		
C	市民ニーズの 把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	官民協働方式による広告掲載を行うことにより、市の財政負担なく全戸配布等発行を安定的に行なっており、電子書籍等新たなツールについても取り組んでいることは評価できる。 アンケート等による利用者意見の収集を行い内容の充実を図るとともに、重複する市が発行している情報冊子との住み分けについての検証を行う必要があると考える。 安定的な発行には広告数の確保が不可欠であり、広告数の減少に伴う影響とその対応について事業者と協議する必要がある。
	事業の 必要性	2		
	事業主体の 妥当性	2		
B	直接のサービス の相手方	3		
	事業内容等の 適切さ	2		
	受益者負担の 適切さ	3		
C	市民ニーズの 把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	暮らしの便利帳の作成にあたり、平成23年度から実施した官民協働方式による発行手法については、財政負担なく便利帳を発行するものであり、特筆すべき取組みであり、今後についても引き続き安定的な発行が可能となるよう広告掲載の確保等について事業者との協議を継続すべきである。 また、二次評価での指摘にある他部署の情報媒体との役割分担については、内容の重複性の視点とともに、暮らしに必要な情報の集約化の観点からも検証する必要がある。